

平成31年1月16日

平成30年度 第2回学校関係者評価書

南アルプス市立若草小学校
校長 澤登 一浩

〔会議日時〕 平成31年1月11日（金）19:00～20:30

〔会議場所〕 若草小学校 校長室

〔出席者〕・学校関係者評価委員5名

名取 武茂 さん（上村区自治会長	・学校評議員）
北村 敏 さん（スクールガードリーダー	・学校評議員）
松田 結香 さん（主任児童委員	・学校評議員）
名取 元希 さん（PTA会長	・学校評議員）
佐久間ひとみ さん（PTA副会長	・学校評議員）

・学校側3名

澤登 一浩（校長）・望月 政幸（教頭）・内藤 大輔（主幹教諭）

1 学校からの説明事項

【学校生活について】

- 運動会や音楽会などの取組を工夫し、一人一人が生き生きと活躍できる場を作ることができた。保護者の満足度も得ることができている。児童の「クラスは目標に向かってがんばっている」や「あいさつ」に関わる評価はよくなっている。児童会で取り組んだ「あいさつミッション」やQUを活かした学級づくり成果がでてきている。
- 児童・保護者とも約9割がいじめへの対応に肯定的な回答をしている。本年度は週に1度のスクールカウンセラー、教育事務所のスクールソーシャルワーカーと関わり、困難さを抱えていた児童に丁寧に寄り添ってきた。未然防止に今後とも取り組みたい。

【学習について】

- 中巨摩の食育推進校の指定を受け、食育と教科の関連、食生活の改善に取り組んだ。1学期：食育講演会（小中連携事業）、2学期：食育を扱った道徳公開、3学期：食育の公開研究会を行った。また新学習指導要領の施行に向けて、「思考力・判断力・表現力」を高める授業づくりを合わせて行った。講師も招聘しながら、充実した研究を行うことができた。
- 教師や友だちの話を「聴く」ことを大切にし、授業中の「発言」を増やす工夫を行った。児童・保護者とも大きな変化はないが、今後とも校内研究と合わせ、学級・学年・ブロックで連携した系統的な取組を進めていく必要がある。また夏休みには講師を招聘してユニバーサルデザインの授業づくりの研修を行った。今後ユニバーサルデザインの考え方を授業の中に順次取り入れていく。
- 県から出ている家庭学習のパンフレット（学びの甲斐善8ヶ条）等利用し、家庭学習強化週間を有効に活用しながら、子どもたちの学習習慣の定着につなげることができた。（宿題等はできている）ただ自主的な学習の習慣化についてまだまだである。家庭の考え方や状況等と折り合いをつけながら、家庭学習推進期間の設定回数や内容を工夫し、今後も家庭学習を保護者の理解と協力のもとに連携していく。

【生徒指導について】

- 普段から学級の子どもの様子に気を配り、QU検査を活用するなど、いじめの早期発見、早期解決の取

組を行い、何か問題があった場合には多くの教師が関わりチームとして指導にあたった。全校職員一丸となった指導、協力体制のもと、いじめにつながる小さな気持ちの荒れを収めていくことができた。また学級づくりを大切に、「学び合い」の授業づくりとともに、あたたかい人間関係の構築に努めた成果も出てきている。

○防犯やあいさつを目的とした「わかくさ見守り隊」を自治会に協力を要請し、PTA活動でも取り組んだ。協力してくれる団体も増え、広まりや浸透がみられた。児童会・PTA・地域の方々とも協力し合いながら、あいさつ運動・見守り活動を工夫し今後も推進していく。

【施設・設備について】

○校舎が48年経ち、老朽化も進んでいる。床、窓、トイレ、プール等夏休みまでにクリーニングを終えた。また保健室にはシャワー室ができた。冬休み中には監視カメラが入る。まだまだ修繕の必要な箇所多い。長期的に対応を考えるもの、緊急性があるもの等、予算と相談しながら（要求しながら）これからも、児童が安全・安心して学校生活を送れる施設・設備を整えていく。

2 意見交換

(1) 安全確保について

- ・防犯カメラが設置され、ありがたい。
- ・通学路点検で鏡中條地区は地区で行ってくれた。たちばな保育園のブロック塀の工事が始まった。先生方が安全点検をしてくださったおかげである。
- ・警察が登校の様子を見にきたり、地域ボランティアの人に危険箇所等の問い合わせを行ったりしている。見守り活動が広がっている。十日市場の甲西道路の付近で事故が多い。三田の駐在所のお巡りさんに登校時見守っていただけるとありがたい。
- ・下校になると、通学路でないところを通る児童を見かける。下校の指導が必要。
- ・校長先生や教頭先生に朝、通学路に立っていただきありがたい。
放課後、休みの日に車に乗っていて、ヒヤッとしたことがある。自転車の乗り方等の指導をお願いしたい。ヘルメットの着用についてはだいぶ定着してきた。
- ・見守り活動・ボランティア活動はこの地域の宝である。いろんな人に見守られて成長する児童は幸せ。ハイタッチもしている。地域としてずっと続けてほしい。
- ・スマホ等を利用している割合が多い。1年生が歩きながら電話をかけている姿もみかけた。

(2) あいさつについて

- ・登校時、寒いが児童がよくあいさつをする。見守り活動や学校での取組の成果が出てきている。

(3) 学力・学びについて

- ・新聞の切り抜き等、宿題に親子で取り組んだ。家庭でも児童に関わるのが大切。本人のやる気を伸ばしたい。
- ・人生100年時代に入った。これからは退職後の生き方が大切。そのことも踏まえながら、何のために学ぶのかを児童に考えさせたい。50代から登り坂になるような人生を歩ませたい。

※アンケート調査の結果・考察、意見交換を生かし、来年度へ向けて教育活動の改善・推進を図っていく。